療法名 **胃癌SOX**

適応 胃癌

抗癌剤適応分類 進行・再発癌

第3版	2025年1月改訂
登録番号	胃-2
登録年月日	2015年11月

投与順	抗癌剤名（一般名）	【略語】	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
1	**エルプラット®** （オキサリプラチン）	L-OHP	100mg/㎡	点滴静注	2時間 （※アレルギーレジメンでは4時間）	d1
2	**エスワンタイホウ®** （テガフール・ギメラシル・オテラシルカリウム）	S－1	80mg/㎡(※1)	経口	朝・夕食後に内服	d1～14

	day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21										
L-OHP	100mg/㎡	↓																														
S－1	80mg/㎡(※1)	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓																	

1コース期間 （次のコースまでの標準期間）	3週間
総コース数	規定なし
コース間での休薬規定	チェックリスト参照

減量規定・中止基準	①蓄積神経毒性：L-OHP減量　②L-OHPのアレルギー：中止。Grade1～2のアレルギー出現後に再投与する場合には、アレルギーレジメンでの投与を検討する　③その他の毒性の場合：S－1、L-OHPともに減量（詳細はチェックリスト参照）
投与量の増量規定	なし
投与間隔の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	L-OHPを投与した日の夕食後からS－1の服用を開始し14日間服用、7日間休薬。
プレメディケーション	デキサメタゾン注9.9mg、クロルフェニラミン注5mg、パロノセトロン注0.75mg点滴静注 （※アレルギーレジメン：デキサメタゾン注16.5mg、クロルフェニラミン注5mg、パロノセトロン注0.75mg、ファモチジン注20mg1A）

主な副作用とその対策	神経毒性に対し、stop and go strategy を採用することもある。Grade3～4のアレルギーはL-OHP永久中止とする。
患者条件	チェックリスト参照
除外規定	①重い末梢神経障害がある患者　②感染症　③経口摂取が不能な患者　④PS3～4
実施上の注意点	

備考	切除不能・転移再発胃癌に対する標準療法のひとつ。
治療成績	SOXはG－SOX試験の結果より、治療成績、毒性の面においてSP療法に劣らないことが証明されている。
その他	※1　S-1は体表面積に合わせて初回投与量を調節する。 1.25m2未満→80mg/day　1.25～1.5m2→100mg/day　1.5m2以上→120mg/day 投与2回目以降は減量規定に合わせて投与量を調節する。

参考文献　南江堂　リスク別　がん化学療法レジメン　改訂第2版
大鵬薬品　TS-1適正使用ガイド
ヤクルト　エルプラット適正使用ガイド